

## 第3回下水道管路の包括的民間委託検討部会

# 第2回検討部会でのご意見について

# いただいたご意見

① どのような部分が仕様に該当して、民間の創意工夫がどのように出せるのかを検討いただきたい。（滝沢部会長）

本委託の「仕様」の考え方について、後ほど詳しくご説明します。

② 業務体制、業務実績の採点方法は明確にして欲しい。（原委員）

のちほど評価基準をご提示します。（次回ご審議いただく予定です。）

③ 市内企業の参画を検討されているが、市内企業が担う業務量ではなく企業数を重視しているということか。（川北委員）

市内企業の参画に関する具体的な着眼点等について、後ほど詳しくご説明します。

# いただいたご意見

**④評価項目「業務実施方針」の内容に業務の理解度とあるが、具体的に示す必要がある。（滝沢部会長）**

実施方針については、本項目を設定したねらいと着眼点について、後ほど具体的にご説明します。

**⑤業務提案で業務全体の効率化という観点も必要である。（滝沢部会長）**

前回部会では、セルフチェックに関する評価については「追加提案」として、提案者が自由に提案できる項目としてご説明しましたが、いただいたご意見を踏まえ、評価項目「業務内容への提案」でセルフチェック体制に関する内容について評価します。

**⑥ワークライフバランスが挙げられているが、プロジェクト自体に関係しない点を考慮するのであれば、他の視点（例えば、環境に対する配慮や、サステナビリティ等）も必要ではないのか。（原委員）**

ご意見を踏まえ、本市が推進している環境に対する取り組みや健康経営の推進といった企業独自の積極的な取り組みを促すことを評価のねらいとして、新たに10の着眼点を設けました。

（横浜市委託に関するプロポーザル方式運用基準を参考）

# いただいたご意見

## ⑦セルフチェックはセルフモニタリングと同じなのか。（滝沢部会長）

本包括委託は仕様発注を予定しているため、要求水準を満足するための業務履行監視（モニタリング）を求めるものではありません。

なお前回部会では、セルフチェックに関する着眼点を「追加提案」の項目としていましたが、より重要な着眼点として評価をするため、「業務内容への提案」の項目としました。

## ⑧プレゼンテーションは評価項目として必要なのか。（滝沢部会長、原委員）

ご意見を踏まえ、プレゼンテーション能力に関する評価項目については除外しました。

## ⑨評価項目について定量化できるものと定性的なものと混同されているので、明確にすべき。（高橋委員）

各評価項目の評価方法について、後ほど詳しくご説明します。